

ダイヤモンド就活ナビ2024

5月活動調査



トピックス

- 就職活動進行状況**

内定獲得は34.8%(23卒)→68.5%(24卒)と7割に迫る
「入社を決めた(内定を承諾した)企業がある」と回答した学生は半数を超える
進行状況は「筆記・適性テスト」88.3%(24卒)が最多
- 内定の状況**

「第一志望の企業に決まった」と回答した学生は56.0%と、半数以上の学生が第一志望の企業に承諾
入社を決めた理由は「仕事に魅力を感じる」55.4%、「社風が良い」50.5%
- 選考参加のきっかけ**

選考参加のきっかけは「インターンシップ類に参加した」58.7%(24卒)、
「インターンシップ類に応募した」36.1%(24卒)が大きく伸びる
企業や仕事について知りたい情報は「仕事内容」85.4%、「社風」82.1%
- 就活観**

入社したい企業の規模は「大手優先」「できるだけ大手」が55.8%
就職活動の環境について「大いに楽観視している」「比較的楽観視している」が53.1%(24卒)と増加

【調査概要】

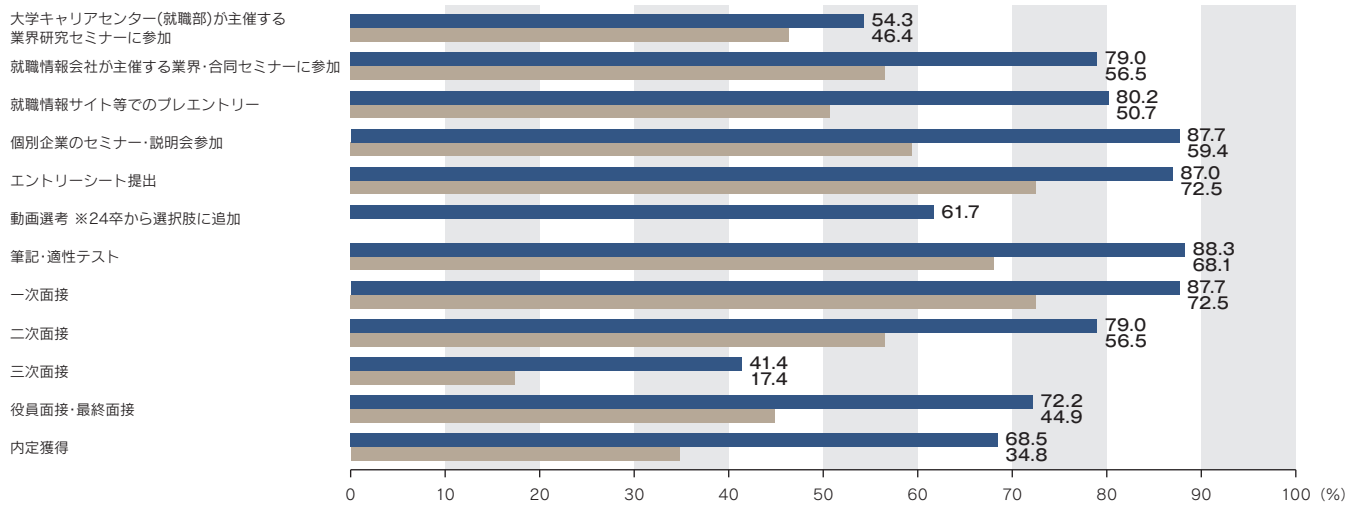
- 調査対象 / 2024年3月卒業予定の大学院生・大学生
- 有効回答 / 371名
- 調査期間 / 2023年5月9日(火)~2023年5月19日(金)
- 調査方法 / Web入力フォームより回答

■ モニターレポート 5月調査内訳

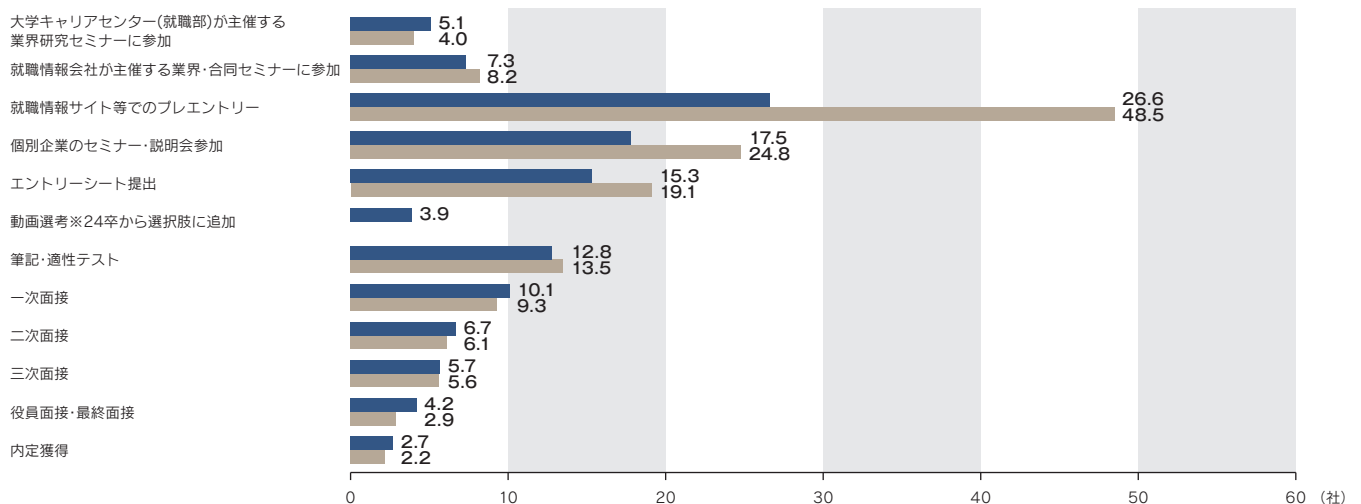
文理	文系:76.9% 理系:23.1%
エリア	北海道エリア:7.1% 東北エリア:0.0% 関東エリア:65.1% 甲信越エリア:1.2% 東海・北陸エリア:1.8% 関西エリア:14.8% 中国・四国エリア:7.7% 九州・沖縄エリア:2.4%
回答の多かった大学	慶應義塾大学 日本大学 早稲田大学 駒澤大学 青山学院大学 岡山大学 中央大学 法政大学 専修大学 上智大学 立教大学 関西大学 和歌山大学 明治学院大学 東京理科大学 立命館大学

1 就職活動進捗状況

Q.1 現在の就活の進捗状況で当てはまるものを全て選択してください。



平均社数



Q.2 内定をもらった企業のうち、入社を決めた(内定を承諾した)企業はありますか？



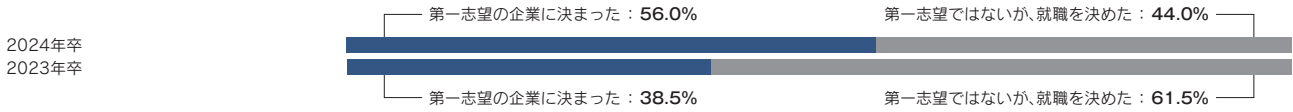
comment

就職活動の進行状況では、「筆記・適性テスト」88.3%(24卒)と最も多く、僅差で「個別企業のセミナー・説明会」・「一次面接」87.7%(24卒)と続く。同時期の23卒向け調査では、「エントリーシート提出」72.5%(23卒)が最多だったことから、24卒は一層選考の早期化が進んでいることが見て取れる。

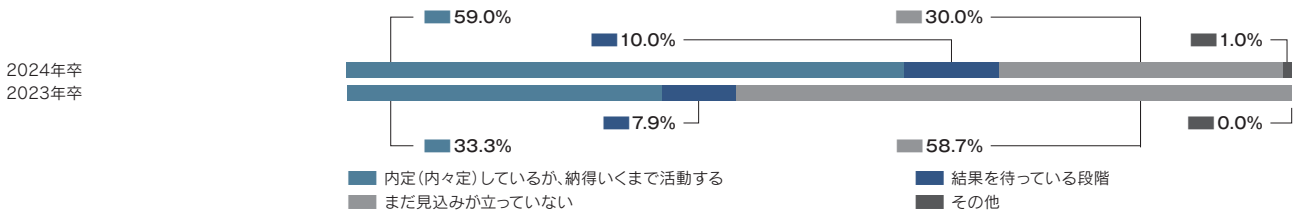
特に内定獲得は34.8%(24卒)→68.5%(24卒)と大きく伸びた。5月調査時点で「入社を決めた(内定を承諾した)企業がある」と回答した学生は56.9%と半数を超え、直近3年度の中で最も高い割合となった。

2 内定の状況

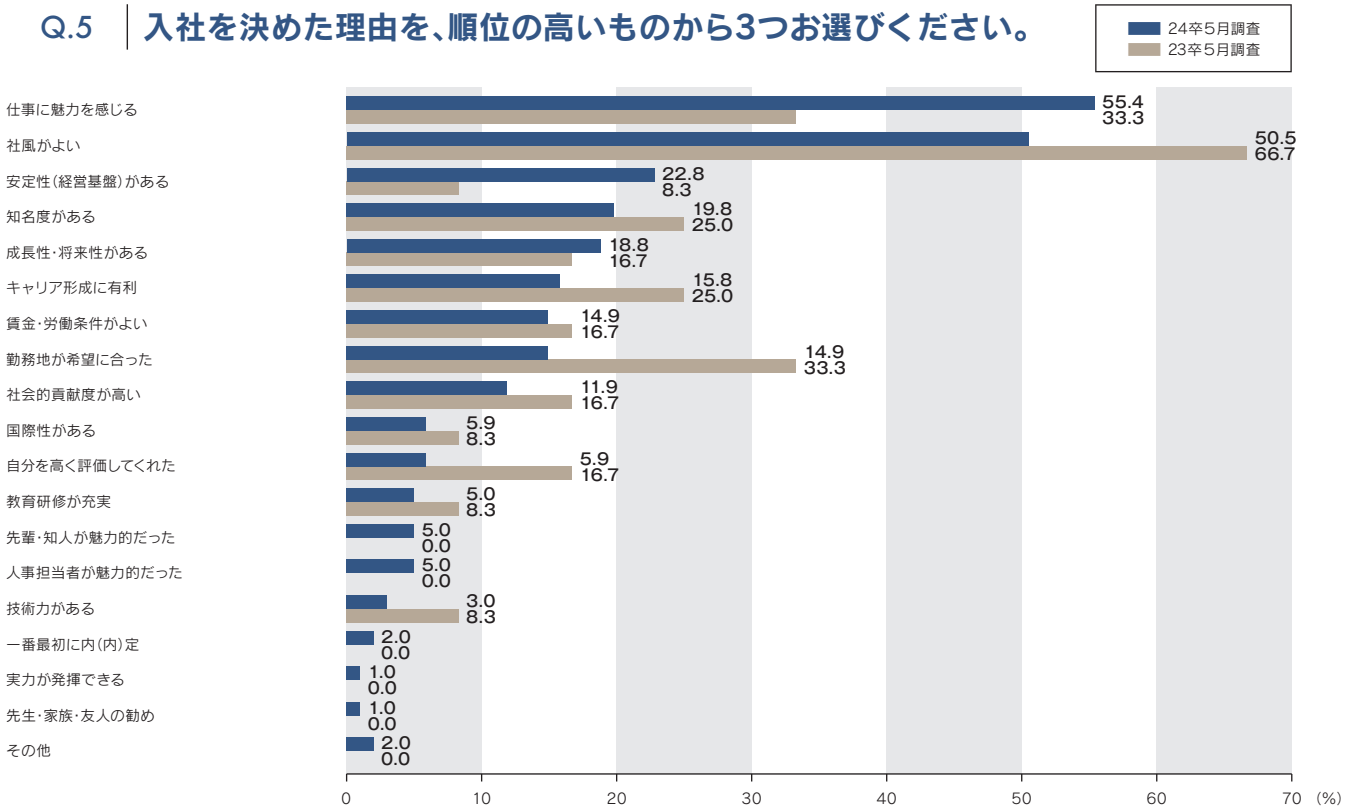
Q.3 就職先について、お聞かせください。



Q.4 現在の状況について、最も当てはまるものをお選びください。



Q.5 入社を決めた理由を、順位の高いものから3つお選びください。



Q.6 内定獲得した企業のうち、インターンシップに参加した企業はありますか？



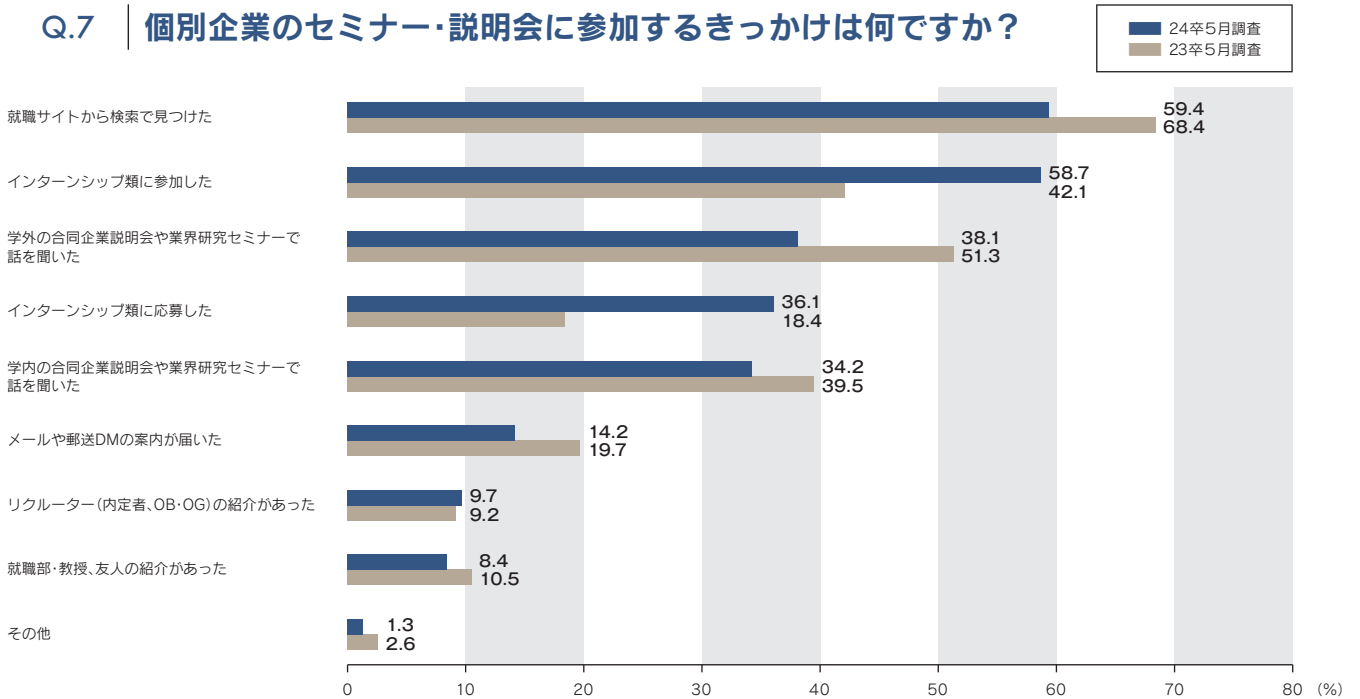
comment

内定を獲得した人の中で「第一志望の企業に決まった」と回答した学生は56.0%となり、半数以上の学生が第一志望の企業に承諾をしていることが分かる。一方で、「内定をしているが納得いくまで活動する」と答えたが学生も59.0%と半数を超え、早期に選考が進むものの、活動を継続する層が多いことが見える結果となった。

入社を決めた理由は「仕事に魅力を感じる」55.4%、「社風が良い」50.5%に票が集まった。内定を獲得した企業のうち「インターンシップ参加企業ある」65.8%と、インターンシップから選考に進み内定を獲得したことがうかがえる。

3 選考参加のきっかけ

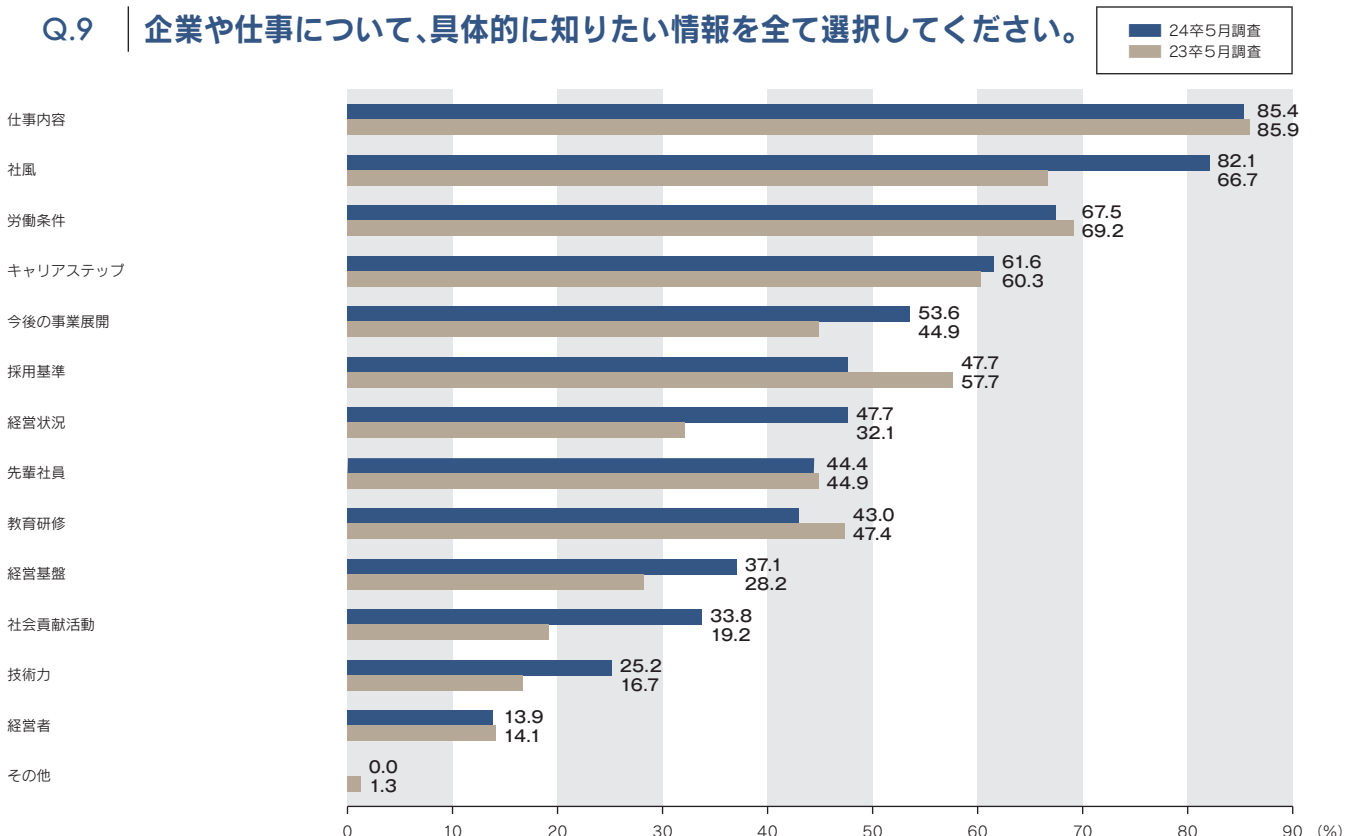
Q.7 個別企業のセミナー・説明会に参加するきっかけは何ですか？



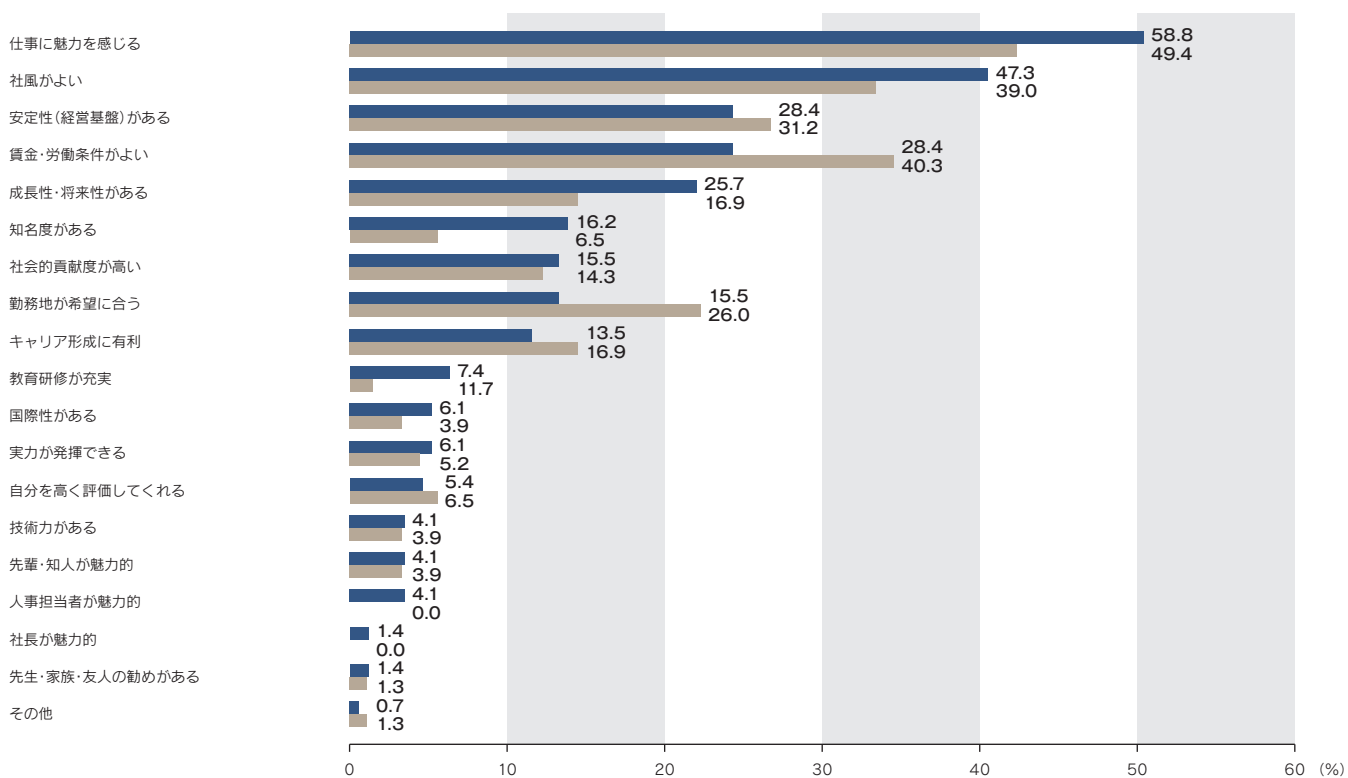
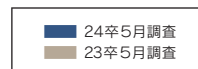
Q.8 本選考を受けた企業のうち、インターンシップに参加した企業はありますか？



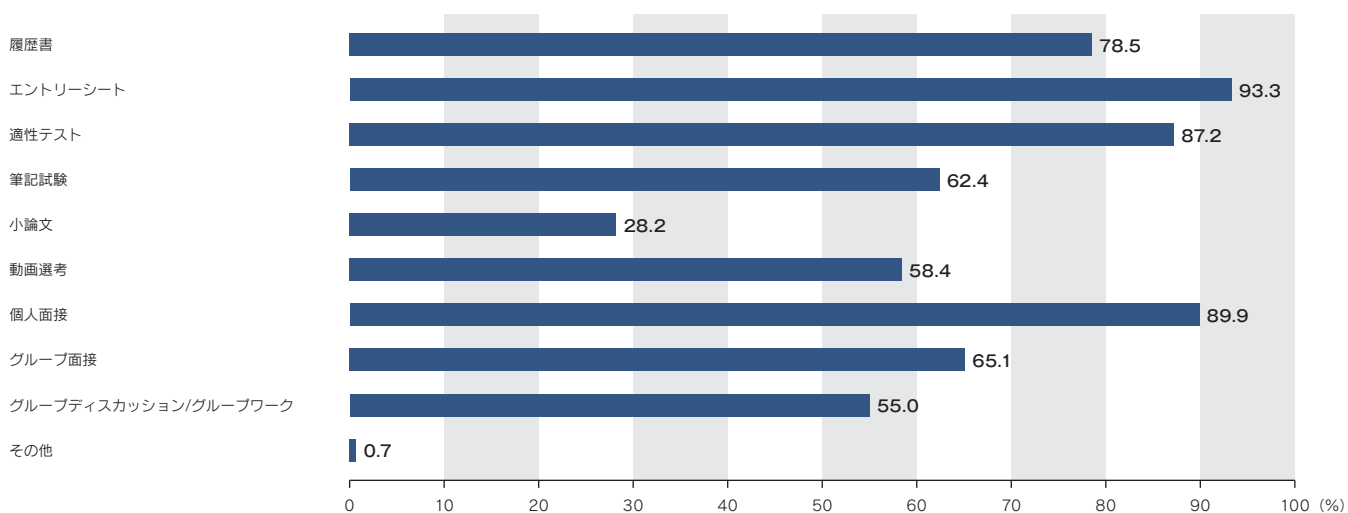
Q.9 企業や仕事について、具体的に知りたい情報を全て選択してください。



Q.10 企業を選ぶ基準は何ですか？現在の考えに近いものを3つお答えください。



Q.11 現在までに受検した企業について、選考手法を全て選択してください。

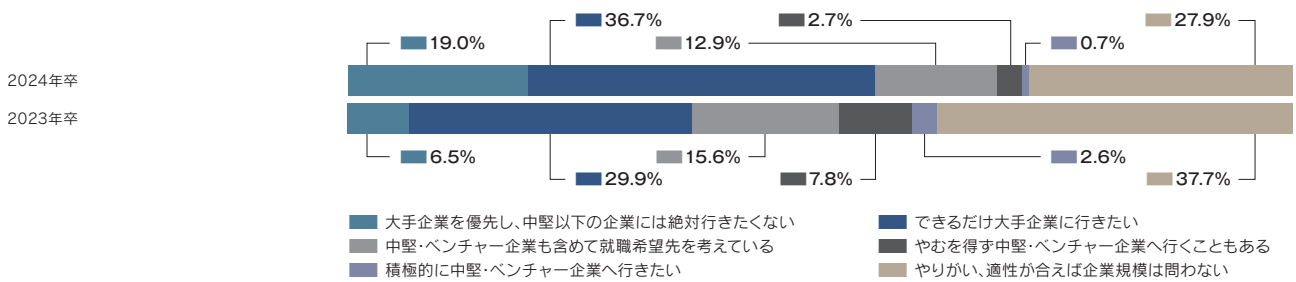


comment

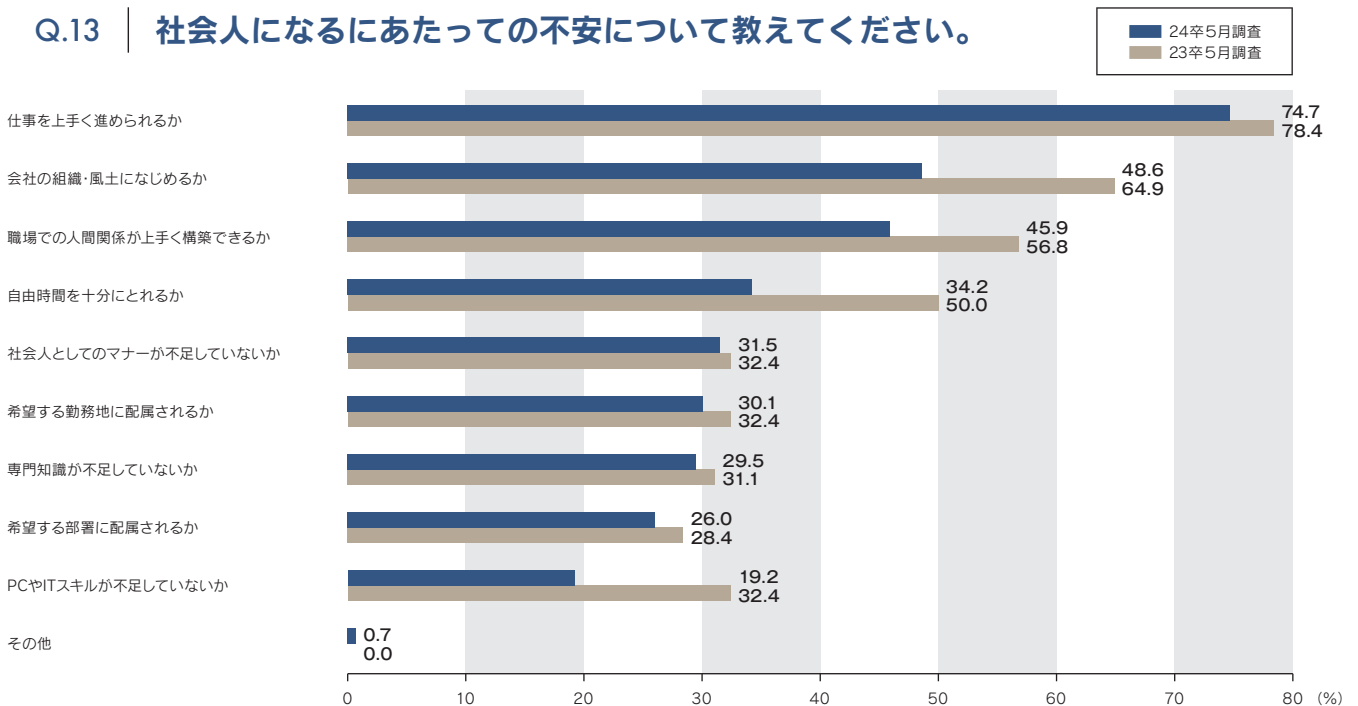
選考に参加するきっかけとして、「インターンシップ類に参加した」42.1% (23卒)→58.7% (24卒)、「インターンシップ類に応募した」18.4% (23卒)→36.1% (24卒)が大きく伸び、選考の入口としてインターンシップ類が果たす役割の大きさが感じられる結果となった。学生が企業や仕事について知りたい情報は「仕事内容」85.4%、「社風」82.1%、「労働条件」67.5%の順となった。「経営状況」「経営基盤」など、企業の安定性を示す項目が23卒と比較して伸びているほか、「社会貢献活動」が19.2% (23卒)→33.8% (24卒)と伸びているのも、SDGsやゼロカーボンなどへの取り組みを企業が着実に進めている表れとも思える。

4 就活観

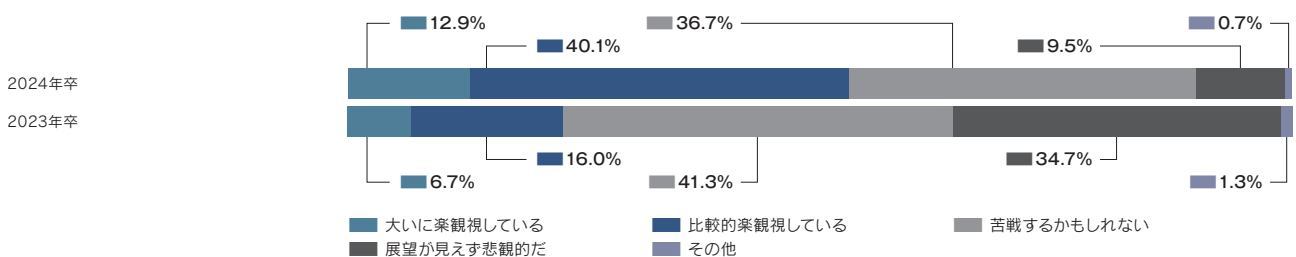
Q.12 | どんな企業に入社したいと思いますか？現在の考えに近いものを教えてください。



Q.13 | 社会人になるにあたっての不安について教えてください。



Q.14 | 就職活動の環境について、どのような感想をお持ちですか？



comment

入社したい企業の規模は「大手優先」「できるだけ大手」の合計が55.8%と過半数を超えた。一方で「企業規模は問わない」は37.7% (23卒) → 27.9% (24卒) とダウンした。

不安に感じていることは「仕事を上手く進められるか」74.7%、「会社の組織・風土に馴染めるか」48.6%、「職場での人間関係が上手く構築できるか」45.9%の順となった。

就職活動の環境について「大いに楽観視している」「比較的楽観視している」が22.7% (23卒) → 53.1% (24卒) と増加した。